2006～2007年度
ＲＩテーマ
LEAD THE WAY
率先しよう
国際ロータリー会長　ウィリアム B. ボイド（国籍・ニュージーランド）

2720地区
別府中央ロータリークラブ

例会日　火曜日　12時30分
ところ　トキハ別府店　７Ｆぼたんの間
TEL　２３－１１１１
事務所　別府市西野口町１番１号 青山通りビル3F
〒874-0931　TEL（0977）23-9000
FAX（0977）23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事　鳴海淳郎　理事　後藤　隆　役員　会　長　上妻　浩　ＳＡＡ　木村きぬゑ
〃　村津忠久　〃　薬真寺章三　副会長　森　宗明　直前会長　平野英壽
〃　溝部　仁　幹　事　近藤賢司
〃　梅津ヤヨイ　会　計　上妻　浩

VOL．19－18
2006年11月14日

第 843 回 例 会

会報委員長　津末美代子

◆点　　鐘　　12：30
◆Ｒ　　Ｓ　　別府中央Ｒ.Ｃ.の歌
◆唱　　歌　　通りゃんせ
◆Ｂ.Ｇ.Ｍ　「オーケストラで綴る日本の愛唱歌」より
七つの子・夕焼小焼・砂山　ほか
◆ビジター　　中川喜胤　後藤憲志（別府北ＲＣ）

会長の時間　　会長　上妻　浩

別府北ロータリークラブの中川会長さん、後藤幹事さん、地区大会のホスト・クラブの中心となって大会を無事成功させて頂きまして有難うございました。本当にお疲れでございました。

さて、本日は会長の時間を借りまして、会員の皆様にお知らせとお願いを申し上げます。

それは次年度の理事、役員の指名についてであります。以下細則を読み上げます。

「ロータリー・クラブ細則第一条『理事および役員の選挙』第一節により、年次総会の１ヶ月前の例会において、議長は会員に対し会長（次年度）、副会長、幹事、会計および７名の理事を指名することを求めなければならない、となっています。その指名は、クラブの決定するところに従って、指名委員会、または出席委員会のいずれか一方または双方によって行うことができます。まずは、会員の皆様からの立候補をお願いしたいと考えております。よろしくお願い致します。」以上、よろしくお願いします。

幹事報告　　幹事　近藤　賢司

－ロータリー財団月間－

１．本日の卓話
『ロータリー財団月間に因んで』 鳴海淳郎会員

２．第５回定例理事・役員会報告
（平成18年11月７日(火)13:40～ 於トキハ別府店例会場 ７名）

審議事項

１）米山梅吉記念館寄付(100円募金)協力依頼の件。＊再考（12月理事会にて）

２）例会変更の件。　＊承認
①忘年会
日時　平成18年12月19日（火）18:30～
場所　ゆわいの宿竹乃井
会費　10,000円
②定款休会
・平成18年12月26日(火)(※平成19年1月2日(火)は法定休日)
③新年家族会(※例会前に第７回定例理事役員会を開催致します。)
日時　平成19年１月９日（火）18:30～
場所　割烹旅館ゆめさき

◆出席報告　　副委員長　髙宮　孝弘

本日の出席	会員総数	25名
	出席者	16名
	事前メイクアップ	7名
	理事会承認	0名
	出席免除	1名
	欠席数	1名
	出席率	66.67％
前々回の訂正 10/17	出席率	62.50％
	事後メイクアップ	5名
	理事会承認	0名
	出席免除	1名
	修正出席率	100％

連　続　7回
通　算　720回　100％

・メイクアップ

事前　吉冨（別府北）梅津、木村（地区大会①）
平野、大島、溝部、津末（地区大会②）
事後　木村（別府）高田（別府北）
溝部、津末、後藤(孝)（地区大会①）
欠席　椛田

会費　会員9,000円/ご夫人5,000円/ご家族3,000円
※会費は、出欠にかかわらず全会員徴収
※プレゼント交換　1,000円程度

3）11月・12月・１月例会予定の確認
11月７日「地区大会報告」上妻　浩会長
14日「R財団月間について」鳴海淳郎会員
21日「ゲスト卓話」別府税務署署長乙丸邦夫氏
28日「会員卓話」河村貴雄会員
12月５日「会員卓話」椛田健治会員
12日「年次総会」
19日「忘年会」18:30～ 於)ゆわいの宿竹乃井
26日「定款第5条第1節(C)に基づき休会」
平成19年１月２日「法定休日」
９日「新年家族会」18:30～ 於)割烹旅館ゆめさき
16日「会員卓話」鳴海淳郎会員
23日「会員卓話」木村きぬゑ会員
30日「クラブフォーラム」

3．お祝い
会員誕生日　　中島澄人会員（11月20日）
※ご自宅にワインが届きます。

4．例会変更のお知らせ
竹田ＲＣ　11月14日(火)・21日(火)の例会は、竹田市"竹楽"開催の為　11月18日(土)・19（日）両日とも16:00～21:00友愛広場：竹田市朝日生命前に日時・場所変更（※当日メイキャップの受付有）
佐伯ＲＣ　11月22日（水）の例会は、定款第５条第１節（Ｃ）に基づき休会
別府ＲＣ　11月24日（金）の例会は、シニアとの夕べの為　同日18：30～つるみ荘に時間・場所変更
大分1985ＲＣ　11月27日(月)の例会は、職場訪問例会の為　12月２日(土)12:30～九州石油ドームトリニータ観戦に開催日変更
津久見ＲＣ　11月28日(火)の例会は、歳末家族会の為 11月25日(土)18:30～津久見市民会館１階に日時・場所変更

5．次週の予定
『私と税あれこれ』別府税務署 署長 乙丸邦夫氏
「会員コラム」高田由子会員（※原稿をお願い致します。）

6．本日の回覧
①「もみじ谷奉仕作業」参加・不参加(11月19日(日))
②くにさきＲＣ　週報

7．本日の配布
①週報842号
②「ロータリー財団の父アーチC.クランフの人となり」 鳴海淳郎著
③「ロータリー財団を一層理解するために」
鳴海淳郎Ｒ情報委員長より

スマイルボックス　副委員長　後藤　孝弘

○別府北ロータリークラブ　会長　中川喜胤氏
幹事　後藤憲志氏

○上妻会員
近藤幹事と同じです。

○近藤会員
別府北ＲＣの中川会長、後藤幹事、先日の地区大会お疲れ様でした。大変な心労だったと思います。今日は、どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

○中島会員
87才の誕生祝有難うございます。子供達が米寿の祝いを催してくれるそうです。数え年の88才で祝うのだそうで、楽しみにしています。

○亀井会員
毎日毎日、ＴＶのニュースで親殺し、子殺しの話題ばっかりです。日本の家族はどうなっていくのでしょうか、残念です。

○赤嶺会員
北ロータリークラブの会長、幹事、会員の皆様、先日は大変お疲れ様でした。無事に終わりスマイルします。

○高田会員
今日は久し振りの参加です。めっきりと朝夕寒くなりましたので、皆さん健康に気をつけて下さい。私は先日とみくじマラソンのウォーキングで秋風と共に歩いて来ました。

○後藤(隆)会員
マー姉ちゃん､河村さんお久し振りです。めったに例会場でお目にかかれないお二人なので、元気そうでヨカッタ、ヨカッタ。（イヤミたっぷりにお願いします）

○河村会員
本日は特にありません。現執行部に感謝してスマイル。

○村津会員
庭の千両が今年も鮮やかな赤い実をつけ始めました。おだやかな別府の秋にスマイル。

○梅津会員
本日、私は納税貯蓄組合より表彰状を受けるための会場へ出席しています。ロータリー財団月間についての卓話を鳴海先生にお願いをしまして、本日の例会を欠席させていただいています。どうぞよろしくお願い致します。

○後藤(孝)会員
吉冨会員、早く戻って来て下さい！スマイル！

卓　話　　鳴海　淳郎

ロータリー財団を一層理解するために

§ロータリー財団とは

ロータリー財団とは、正式には「国際ロータリーのロータリー財団」で、全世界のロータリー・クラブ会員より寄付を受け、それを基金に、承認された人道的および教育的、文化交流プログラム支援のために資金を支給する非営利法人です。

ロータリー財団の使命は、下記のような地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。

2006年6月承認の新しい声明によりますと､「国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。」としております。

§ロータリー財団の各種プログラム

ポール・ハリスが逝去した年の1947年7月に「ポール・ハリス記念基金」が設けられ、世界中のロータリアンから120万ドルの寄付が寄せられました。これによって、当時「ポー

ル・ハリス・フェローシップ」と呼ばれる国際親善奨学金プログラムが開始され、ここに財団の土台が築かれました。

この最初の財団プログラムに引き続き、新しいプログラムが次々に生れ、更に寄付金の増加とともに財団は発展していきました。しかし、寄付金の増加とともにニーズも増え、場合によっては、財源不足によって新規の補助金が一時凍結される事態も起こったり、場合によっては名称が変更されたり、増額されたりして現在に至っています。

現在のプログラムは、大きく次の3種類に分けることができます。

財団のプログラム

・教育的　・人道的　・ポリオ・プラス

◎ 教育的プログラム

※ 国際親善奨学金

財団が提供する世界で最も規模の大きい国際的な奨学金プログラムです。奨学生は自国以外の国へ留学し、非公式の「親善使節」として活躍しています。1947年以来、110カ国から37,000人以上の奨学生が受け取った額は、4億6,200万ドル以上になります。2004～05年度には、70カ国から737名の奨学生が62カ国に留学し、1,560万ドルの奨学金が授与されました。

※研究グループ交換（GSE）

毎年授与されるこの補助金は、組み合わされた2つのロータリー地区に授与され、多種の職業に従事するロータリアン以外の人々からなるチームに旅費を提供します。受入側のロータリアンが4週間から６週間の研修と分化交流を含む日程を作成します。1965年以来、102カ国以上から52,000人（約12,000チーム）を超える人々が参加し、その費用は8,800万ドルを超えています。2004～05年度には、404チームが海外に赴き、340万ドルの補助金が授与されました。

※平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター

（ロータリー世界平和フェローシップ）

毎年、70名までのフェローがフェローシップを受領し、7つの平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターの１校で、修士課程の研究にあたります。2002～03年度のプログラム開始以来、50カ国から180名のフェローが参加し、その費用は1,100万ドル近くに上ります。2004～05年度には、27カ国からの64名の平和フェローが7つのロータリー・センターで学業を開始し、2年間のプログラムにかかる総費用は350万ドルとなっています。

※大学教員のためのロータリー補助金

この補助金は、３ヶ月から10 ヵ月間、発展途上国で教鞭をとる大学職員に授与されます。1985年以来、406名の大学職員が発展途上国の大学で専門知識を教授しました。2004～05年度には6カ国から29人の大学職員が19カ国で教鞭を執り、396,000ドルの補助金が授与されました。

※平和および紛争解決研究プログラム

5番目の教育的プログラムで、2006年７月１日より始まる３年間の試験的プログラムです。　タイ、バンコクのチュラロンコーン大学で、３ヵ月間、紛争解決について学ぶもので、１年間に３ヵ月コースが２回提供され、１コースにつき30人が選ばれる予定です。

◎ 人道的プログラム

※マッチング・グラント

ロータリー・クラブと地区の国際奉仕プロジェクトに対する組み合わせ資金として授与されるものです。1965年以来、166カ国における22,000件以上のマッチング・グラントのプロジェクトに2億2,400万ドルを超える資金を提供しています。2004～05年度には、136カ国における2,272件の新たな補助金プロジェクトが承認され、2,580万ドルが授与されました。

※地区補助金

地元または海外の地域社会における地区の短期奉仕活動、あるいは人道的な尽力活動を支援します。このプログラムは2003～04年度に開始され、57カ国におけるプロジェクトのために、772件に上る補助金が承認され、総額1,100万ドルが授与されました。2004～05年度には389件の補助金が承認され、610万ドルが支給されました。

※保健、飢餓追放および人間性尊重（３-H）補助金

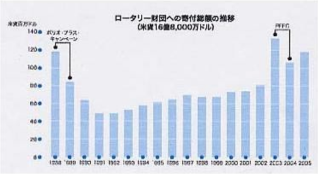
保健環境を改善し、飢餓を追放し、人間性尊重を推進する2年から4年にわたたる大規模なプロジェクトに資金を提供するものです。1978年以来74カ国の276件のプロジェクトに、7,100万ドルが授与されてきました。2001年から2004年までこのプログラムは一時停止措置が加えられていたため、2004～05年度には1件のプログラムも承認されませんでした。この一時停止措置は2005年1月1日に解除され、2004～05年度中に受理された申請書は、2005～06年度の支給に向けて審査が行なわれる予定です。

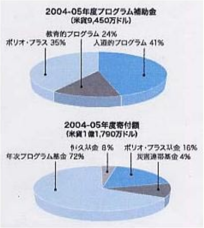
※ボランティア奉仕活動補助金

2006～07年度からの新内容（旧称：個人向け補助金）で、計画や直接の奉仕活動を行なうための旅行を支援し、資格を有するロータリアンおよび配偶者を対象にしています。個人に対しては一律に米貨3000 ドルを、チーム（5名まで）に対しては一律に米貨6,000ドルが支給されます。申請書は、出発3ヵ月前までに受理されなければならず、また、出発2ヶ月前までに承認されなければなりません。

◎ ポリオ・プラス

1985年のポリオ・プラス・プログラムの発足以来、20億以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンの投与を受けてきました。現在までに、世界で210の国々や地域がポリオ無発生となっています。2005年6月現在、ロータリーは、全世界のポリオ撲滅に5億8,100万ドル以上を投入してきました。2004～05年度の支出額は3,310万ドルでした。





§ロータリー財団最新資料 2006年6月30日現在

- 財団創立以来の全世界の寄付累計額（含ポリオ・プラス）1,792,000 000米ドル
- 財団創立以来の日本の寄付累計額（含ポリオ・プラス）363.197,806米ドル
- 全世界のポール・ハリス・フェロー総数 1,011,551人
- 日本のポール・ハリス・フェロー総数 132,854人
- 世界のロータリー財団ベネファクター総数 71,318人
- 日本のロータリー財団ベネファクター総数 18,937人
- 財団創立以来の全世界の財団奨学生 約37,000人
- 財団創立以来日本から選ばれた財団奨学生総数（含2004～06年度）7,657人
- 財団創立以来海外から日本に留学した財団奨学生総数（含2004～06年度）927人
- 研究グループ交換(GSE)プログラム創始以来の全世界の参加チーム総数 約11,500チーム
- 日本から海外を訪問したGSEチーム総数 440チーム

（以上 ロータリーの友 2006年11月号 資料より）

※財団の概要

ポール・ハリス・フェロー：1,011,551人
財団ベネファクター：71,318人
大口寄付者：7,456人
2006年6月30日現在（ロータリー財団管理委員会の決定事項の抄録より）

§ロータリー財団への寄付について

世界中のロータリアンは、ロータリー財団に対し惜しみない寄付を寄せ、幅広い教育的、人道的、文化的交流活動を展開しています。これらの寄付は、全世界を通じ、よりよい暮らしをするに値する多くの人達の夢を実現させています。財団への寄付について、手続要覧には次のように書かれています。

「ロータリー財団への寄付は自発的なものである。従って、財団への寄付を会員資格の条件とすることを入会申込書に書き入れてはならない。ロータリー・クラブの細則は、ロータリー財団に寄付することを会員資格の条件とすることを規定してはならない。ロータリー会員証にこのようなことを書き入れることを認めてはならない。（ロータリー章典5,090.2）

従って、財団への一般寄付がＲＩへの人頭分担金とまぎらわしい方法で徴収されたり、ＲＩや地区が強制とも受取られる方法で募金活動をすることは許されていないのでありましえ、国際奉仕の重要性を理解したロータリアンの自発的な奉仕によってロータリー財団の活動が支えられていくべきであります。

ところで、2001年規定審議会で西暦2005年までに毎年1人当たりの寄付を100ドルにする決議（01―276）が採択されましたが、ロータリーで1人当たりの寄付というときは、年次寄付についての１人当たりの寄付であり、寄付総額を会員数で割ったものではないという点に注意して下さい。

◎ 財団寄付の種類

１．年次寄付

年次寄付は財団寄付の基盤であり、年次プログラム用の寄付金を入れておくもので、元金で財団の奨学金や補助金を支払う、いわば財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たしています。

寄付金は、寄付の３年後に使われ、寄付の３年間の収益は、ロータリー財団のプログラムの運営、寄付増進、一般運営費に使われます。

※ シェア・システム 〜 DDFとWF

寄付を最も有効に使うことのできる方法の一つです。年次寄付は上記のように3年後のプログラムのために使われます。　地区はこれによってプログラムを計画したり、奨学生を選考したりすることができます。

すべての地区年次寄付は、寄付年度末に集計され、二つの活動資金に分けられます。50％（2003〜04寄付年度のものは2006〜07年度に使われます）は地区財団活動資金（District Designated Fund ? DDF）として、地区が使い道を決めることができます。残りの50%は国際財団活動資金（World Fund ?WF）として使われることになります。例えば、奨学金や地区補助金は、大学教員のための補助金は、原則としてDDFを使い、個人向け補助金やGSEは WFを使います。マッチング・グラントはWFもDDFも使います。

２．恒久基金寄付

恒久基金とは、管理委員会が、世界平和と平和のためのロータリー財団基金（1982年に発足）に代わるものとして新たに採択した名称で、運用収益のみを財団プログラムに使用する基金です。

その目標は、最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にしようとするものであります。

ＲＩは、来るロータリー 100周年祝賀として、また幾世紀にもわたるロータリー運動および国際奉仕の世界の指導者として、ロータリーへの献身を実証するものとして、恒久基金を特に支援するようロータリアンに奨励しています。

３．使途指定寄付

年次寄付は,3年後のプログラムに使います。恒久基金寄付は、元金を使わず、財団が運用して、その利息だけ使います。使途指定寄付は、あらかじめ使い道を決めて寄付するもので、ポリオ・プラスがその代表的例です。ポリオ・プラス寄付は、一度、ポリオ・プラス基金に入れ、ニーズがある都度使っていきます。他のものには流用できません。

※恒久基金が5億ドルを超える

この9月、世界中のロータリアンからの献身的な支援によって、ロータリー財団の恒久基金の総額が、5億米ドルを超えました。

1982 年に創設された恒久基金は、すべての財団プログラムに向けて資金を提供し、財団の将来にとっての安定した財源となっています。とりわけ、1994年以来、その資金は6倍になり、昨年度では、元金はそのままで、プログラムに拠出できる収益は490万ドルを計上しました。

恒久基金は、創設当初から、資金を必要としている人々に貢献し、ロータリーの主要な目標を実現へと近づけてきました。2002年に発足した国際研究のためのロータリー･センタープログラムは、その顕著な例です。恒久基金の次なる目標は、2025年までに10億ドルを達成することです。そのとき、プログラムの資金は現在の10倍となり、世界に貢献する規模も拡大します。

◎寄付の認証

＊ベネファクター

遺言または他の遺産計画に、恒久基金に寄付する旨を書き記したことを書面で財団に通知した人、または、恒久基金に少なくとも米貨1,000ドルを無条件寄付した人は、ベネファクターとして認定されます。

＊ポール・ハリス・フェロー

米貨1,000ドル寄付した人、あるいは、ある人の名義でその寄付が行われた場合、その名義人は、申し込めば、ポール・ハリス・フェローとして認定されます。

＊マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェローが、更に米貨1,000から9,000ドルまでを寄付した場合、その個人は、申し込めば、ポール・ハリス・マルチプル・フェローとして認定されます。

＊大口寄付者

寄付の累計額が米貨1万ドルまたはそれ以上の寄付者には、大口寄付表彰が贈与されます。この表彰には、米貨1万ドル以上、2万5000ドル以上、5万ドル以上、10万ドル以上、50万ドル以上、100万ドル以上の６段階があり、各段階に到達する都度表彰され、クリスタル製の置物が贈られます。

＊財団の友

ポール・ハリス・フェローとして認証されるために一括1,000ドルを寄付するのではなく無理の無い範囲で、1回目100ドルを寄付し、1,000ドルに達するまで随時寄付するというのが、従来のポール・ハリス準フェロー制度でした。

このポール・ハリス準フェロー制度が1999年に、Rotary Foundation Sustaining Member（ロータリー財団準フェロー）と変わりましたが、このたびこれが「財団の友」と改訳されました。

※免税措置

1998年より、30万円以上の財団寄付については、免税措置がとられるようになりました。

◎ 寄付の活用について

国際ロータリーのロータリー財団への毎年の寄付は、地域的、全国的、国際人道的、教育的、文化的なプログラムを通じて、世界理解と平和の推進を支援しています。年次プログラム基金へのすべての寄付は、また、財団プログラムのための惜しみない支援による主要な財源は、直接それらのプログラムに役立てられています。

※米貨 100 ドルの寄付は以下を提供する助けとなります：

・ザンビアの1つの小学校に教科書
・ガテマラの荒涼地域の植林を援助する1,000本の苗木
・パキスタンの聴覚障害児童１人に補聴器
・フィリピンの 112 人の子供たちの虫下し
・インドの3人の視覚障害者に白内障の手術
・韓国の冬季を通じ高齢者たちに230枚の毛布

以上、財団について述べましたが、何と申しましてもロータリー財団は、国際規模の人道的、教育的プログラムを通じて、世界理解と平和を達成することを目標としているロータリーにおける国際奉仕の主力機関です。

どんな小さいクラブでも、ロータリー財団という絆を通じて会員一人一人が大きな力に結集され、世界の平和に貢献できます。

財団プログラムに参加することにより、ロータリー世界をつなぐ絆の重要な一環となるわけであります。

また、財団には一時的でなく、長期的投資をしているのだということを私たちは知らなくてはなりません。

財団の標語　「世界でよいことをしよう」

参考資料

・『ロータリー財団を理解する』
「2006年GETSにおけるロータリー財団に関するプレゼンテーション」より（RI　ダウンロード・センター）
・2006 年ロータリアン必携
・2005 年携帯用カード（国際ロータリーのロータリー財団）

会員コラム

大島由美子

眼差し

ある本に……
人はいつも誰かの目を無意識のうちに感じて生きていく者かもしれません。
例えば、親、異性、世間一般の……
でも、それは貴方自身の心の目かもしれません。
いつも誰か見守ってくれる……
そう思えることが、貴方を輝かせる第一歩。
まずは自分自身をあたたかい眼差しで、見守ってあげましょう。
と……

次回は、高田由子会員です。